

# 特色ある学校づくり推進事業通信

豊松小学校

R5.8.18(金)

第2号

文責 鈴木 尚子

「特色ある学校づくり推進事業」とは、本校が特色ある教育を行っていくために、市から予算をいただいで活動している事業です。遅くなりましたが、令和4年度の事業報告をさせていただきます。

## テーマ 「自然と歴史いっぱい 野鳥いっぱい 豊松小」

### 1 ねらい

- 学校を取り巻く豊かな自然環境と豊富な歴史を生かした活動を進める。
  - ・野鳥に親しみ、学び、豊かな自然に進んで働きかける子どもを育てる。
  - ・地域講師を招いた、地域学習を通して、地域の良さを学ぶ姿勢を育てる。
- 恵まれた自然環境を生かすために、校地内の環境整備を進める。
  - ・学校畑の整備活用、ササユリの保護、樹木の剪定や伐採、施肥など環境整備を進める。
  - ・校内整備には、校内整備員の力を借りて、作業を進め、環境整備に努める。
- 全校で41名という少人数を生かした活動や一人一人に寄り添った支援を進める。
  - ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくりに努める。
  - ・心に不安を抱えている子どもへの相談活動や居場所づくりを行うために、心の相談員を配置する。

### 2 活動内容

- 自然環境と学校や地域の歴史を生かした活動の推進
  - ・愛鳥活動…探鳥会開催（年2回 4月と1月） 野鳥の観察と学習
  - ・地域学習の推進…地域講師による地域の歴史や伝統芸能や自然を学ぶ会の開催
- 生活科・総合的な学習の時間を通して学ぶ自然と関わる学習
  - ・ササユリ生育のための環境整備 ・学校畑を利用した野菜栽培
  - ・花と緑の豊かな学校環境作り ・水生生物調査や仁王川の水質調査による環境保護活動
  - ・校内整備…校内整備員による樹木の剪定や草取りなどの環境整備
- 少人数（全校児童41名）を生かした活動の推進
  - ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくりや教育相談活動…心の相談員による支援
  - ・読書に親しむことによる心の教育…保護者や地域の方による読み聞かせ

### 3 成果と課題

- 探鳥会を通して、「オオルリの鳴き声が聞こえた。巣も見つけてうれしかった。」という感想を得た。
- 今年度は創立150周年にあたり、昔の豊松小学校について調べ学習を行った。卒業生である地域の方からお話を聞き、調べたことをまとめて学芸会や150周年祭の式典の場で発表した。地域の方からも「当時を思い出した。」という声も聞かれた。「地域の方々が豊松小学校を大切に思う気持ちを感じることができました。」「200周年になった時も豊松にいたいな。」と感想をもつ子もいて、地域に対する関心の高まりを得られた
- 校内整備員を配置することにより、校舎内外の樹木や学校畑などが、常に整備されるようになった。
- 心の相談員を配置したことにより、心に不安を抱えている子どもへの相談活動や居場所づくりを行うことができた。

### 4 保護者・地域への情報発信の取組実績

- 「特色ある学校づくり推進事業通信」を計6回発行し、学級内に掲示したり、ホームページに掲載したりするなど、情報発信に努めた。
- 6年生が地域学習で学んだことを学芸会や150周年祭で保護者や地域の人へ発表した。
- 民生児童委員・主任児童委員連絡会や学校アドバイザー会や教育協議会で、特色ある学校づくり推進事業の活動の様子を報告した。